



### 10月の採用薬品（特定個人薬品）

#### **ノバミン錠5mg**

精神神経用剤

共和薬品工業



【効】統合失調症、術前・術後等の悪心・嘔吐  
 【用】通常、成人にはプロクロルペラジンとして1日5～20mgを分割経口投与する。  
 精神科領域において用いる場合には、通常、成人1日15～45mgを分割経口投与する。  
 【副】添付文書参照

#### **サラゾピリン錠500mg**

潰瘍性大腸炎治療剤

ファイザー



【効】潰瘍性大腸炎、限局性腸炎、非特異性大腸炎  
 【用】通常1日4～8錠（2～4g）を4～6回に分服する。  
 症状により初回毎日16錠（8g）を用いても差しつかえない。  
 この場合3週間を過ぎれば次第に減量し、1日3～4錠（1.5～2g）を用いる。ステロイド療法を長期間継続した症例については、サラゾピリン4錠（2g）を併用しながら、徐々にステロイドを減量することが必要である。  
 【副】添付文書参照

### ◆当センター採用のGLP-1製剤についてまとめました。

| 商品名                 | 採用区分 | 効能効果  | 用法用量   | デバイス(注射器)の特徴   |
|---------------------|------|-------|--|--|
| トルリシティ皮下注0.75mgアテオス | 特定個人 | 2型糖尿病 | 0.75mgを週に1回、皮下注射                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 用量調節不要</li> <li>● 空打ち不要</li> <li>● 注射針はデバイスに内蔵(29G)</li> </ul>                        |
| オゼンピック皮下注2mg        | 院外専用 | 2型糖尿病 | 週1回0.5mgを維持用量とし、皮下注射<br>開始用量は週1回0.25mg、週1回1.0mgまで増量可 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 用量調節可能な複数回投与ペン型注入器</li> <li>● 初回のみ空打ち必要</li> <li>● 注射針は必要だが、32Gなど細い針を使用できる</li> </ul> |

### 10月の採用薬品（院外専用薬品）

#### **オゼンピック皮下注2mg**

2型糖尿病治療剤

ノボノルディスクファーマ



【効】2型糖尿病  
 【用】通常、成人には、セマグルチド（遺伝子組換え）として週1回0.5mgを維持用量とし、皮下注射する。ただし、週1回0.25mgから開始し、4週間投与した後、週1回0.5mgに増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週1回0.5mgを4週間以上投与しても効果不十分な場合には、週1回1.0mgまで増量することができる。  
 【副】添付文書参照

#### **バルデナフィル錠10mg「トーフ」**

勃起不全治療剤

東和薬品



【効】勃起不全（満足な性行為を行うに十分な勃起とその維持が出来ない患者）  
 【用】通常、成人には1日1回バルデナフィルとして10mgを性行為の約1時間前に経口投与する。10mgの投与で十分な効果が得られず、忍容性が良好と判断された器質性又は混合型勃起不全患者に対しては、20mgに増量することができる。  
 高齢者（65歳以上）、中等度の肝障害のある患者については、本剤の血漿中濃度が上昇することが認められているので、5mgを開始用量とし、最高用量は10mgとする。  
 1日の投与は1回とし、投与間隔は24時間以上とすること。  
 【副】添付文書参照

### 採用薬品の名称変更

フロセミド錠20mg「武田デバ」 → 「NIG」（名称変更）  
 フロセミド注20mg「武田デバ」 → 「NIG」（名称変更）  
 炭酸リチウム錠200「ヨシトミ」 → 炭酸リチウム錠200mg「アメル」

### 採用区分変更薬品

ベルソムラ錠20mg 採用薬品 → 院外専用薬品、必要時特定個人薬